

## 第 16 回 茨城県少子化対策審議会 開催結果について

- 1 日 時 令和 6 年 11 月 6 日（水） 15：30～16：50
- 2 場 所 茨城県薬剤師会館大会議室
- 3 出席者 審議会委員 14 名（欠席 2 名）、臨時委員 6 名（欠席 1 名） ※別添名簿参照  
事務局（県）市村子ども政策局長、楊箸少子化対策課長  
菊地子ども未来課長、平根青少年家庭課長ほか

### 4 結 果

番号	事項	結果
議事(1)	・「茨城県次世代育成プラン」令和 5 年度実施評価について	・原案どおり承認。
議事(2)	・「子ども・子育て分科会」、「要保護児童対策分科会」及び「茨城県青少年健全育成審議会」の結果について	・審議会資料について事務局より説明後、意見発言があった。
議事(3)	・「茨城県こども計画（素案）」について	

### 5 委員の発言要旨（主なもの）

#### 議事（1）「茨城県次世代育成プラン」令和 5 年度実施評価について

○本来であれば子ども食堂は少ない方が望ましい状態だと思っている。件数を追いかけるというよりは、困っている方、例えば、貧困家庭にカウントされるようなこどもの数に対し、何パーセントぐらい充足できているかなど、もう 1 歩踏み込んだ指標になっていくといいと考えているので、ぜひご検討いただきたい。

○これまでは待機児童について、4 月と 10 月時点の両方を出さなくてはとしていたが、こどもが少なくなり、施設が増えている時代の流れもあり、いわゆる国が言う待機児童は 0 に近い数字になっていくので、これからは 4 月の時点だけにとという絞り方にしている。

○男性の家事育児の時間に携わる時間の男性への働きかけは、義務教育の段階から必要かもしれないし、もしかしたら結婚を控えている、もしくは新婚さんとか、そういったところまでアプローチしていかないといけないのではないかな。

#### 議事（3）「茨城県こども計画（素案）」について

○結婚を希望する方への支援で、結婚意思のある方に尋ねた「独身でいる理由」の調査結果が掲載されているが、「経済的に余裕がないから」が最大で、非常に難しい課題だとは思いますが、ここにどうアプローチするかも検討が必要と思う。

- 女性の育休は当たり前になっており、それに応じた人員配置を考えているが、男性の場合は、あまり長い時間や期間を取らない方が多く、育休期間に代替の人がいない状況もある。  
今後、だんだん男性育休は増えていくと思うが、育休取得に関する悩み等を共有し、働き方について考えていくことも必要。
- 男性の育休取得率が上がっているのは確かだが、男性の取得日数が短いことが問題になっているので、計画に加筆が必要と感じた。
- 産後ケアの充実とあるが、手続きがすごく大変で使いづらい。予算が少ないことも言われており、子育てに異次元の政策と言う割には、例えばこういうことはできませんかと言うと、予算内でと言われることが多い。本当に充実させたいなら、利用したい人が誰でも利用できるような仕組みが必要。
- こども計画（素案）について、専門用語に対しての注釈を記載してほしい。  
こども主体の計画となるため、中学生、高校生が読み込んでくれるものを目指した方がよいし、シニアの方も、片仮名の文字が増えて読みにくいという話もあるので、ユニバーサルにするためにも注釈を入れた方がよい。
- 指標は、数値の出典元や根拠が分かるように記載いただきたい。